



PRESS RELEASE
報道関係 各位

2024年3月26日

公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会

【JPC プレスリリース】国際パラリンピック委員会公認教材
『I'mPOSSIBLE(アイムポッシブル)』日本版
初のアニメーション教材を提供開始。ウェブサイトも刷新リニューアル
～パラスポーツを通じインクルーシブな世界を作る～

「国際パラリンピック委員会(IPC)公認教材『I'mPOSSIBLE』日本版の小学生版、中学生・高校生版それぞれに、このたび、待望のアニメーション教材が登場し、同時に、公式WEBサイトもリニューアルして公開されました。このWEBサイトには、パラスポーツを通じ、インクルーシブな世界をつくるというIPCの理念が活かされています。



◆アニメーション教材について

教育現場のICT化の流れに合わせたデジタルコンテンツ対応を進める中で、初のアニメーション教材を公開しました。アニメーション映像の制作は、『I'mPOSSIBLE』日本版事務局が、教育コンテンツ制作のノウハウを有したNHKエデュケーショナルの協力を経て、共同で行いました。パラリンピックを題材に、共生社会の実現に向けて「気づき、考え、行動を起こす」力を育むためのICT教材です。



◆WEBサイトリニューアルについて

アニメーション教材の公開に合わせ、ウェブサイトがリニューアルされました。教育関係者から寄せられたニーズに応え、必要な情報がどこにあるのかわかりやすくなるよう、閲覧コンテンツを再整理しました。また、授業の目的に沿ったユニット(授業)を探せるように、フローチャート、学習指導要領対応表から選べる資料などを展開しています。 URL : <https://iam-possible.online>



※初版教材は日本パラリンピック委員会(JPC)と日本財団パラスポーツサポートセンターが、ベネッセこども基金の協力のもと共同で開発しました。現在はJPCが開発・普及を担っています。

※近年、「障害」の表記における「害」という漢字表記について、さまざまな意見をふまえて「障がい」とひらがなで表記することが増えており、日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会でも原則的にこの表記を採用しています。一方で、『I'mPOSSIBLE』日本版では、障害者権利条約の理念に基づいて教材が開発された経緯を踏まえ、国内の法制上の表記に合わせて「障害」を採用しています。

<本件に関するお問合せ先>

(公財)日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会 企画広報部 黒田・屋敷

E-mail: jpcjpsa-media@parasports.or.jp

JPC OFFICIAL SPONSORS

